

Cisco SONA および Unified Communications の事例研究: ネットワークアーキテクチャの刷新により容易になった Unified Communications の展開

シスコでは、ネットワークアーキテクチャの刷新が IP 音声、データ、ビデオ製品のネットワークへの組み込みを後押ししました。

多くの大企業同様、シスコ®でも、個別に構築されていた音声とデータのネットワークをひとつに集約したいと考えていました。そうすることで、コストは削減され、運用効率は向上し、IP 通信などの新しいテクノロジーを導入しやすくなるからです。ところが、シスコのネットワークは巨大で複雑であったため、単なる再設計では対応しきれませんでした。そこで新たに導入されることになったのが、Cisco Service-Oriented Network Architecture (SONA: サービス指向型アーキテクチャ)による総合的なフレームワークです。SONA の導入により、シスコのネットワークは、ID 管理やモビリティ、セキュリティ、音声通話の制御といった再利用可能でスケーラブルなサービスをサポートできるようになりました。

ビジネス上の利点

- ネットワークのインテリジェンスが向上
- IP コミュニケーションによるコスト削減
- 従業員の生産性が向上
- ビジネスプロセスを強化
- 新しいサービスやアプリケーションの展開速度が向上

「新しいアプリケーションを展開することは、単にネットワーク上にあるサービスの中から適切なものを集めることに過ぎないのです」

-- Jawahar Sivasankaran,
Cisco IT Program Manager

SONA のフレームワークは Unified Communications ソリューションを社内
で展開するのに重要な役割を果たしました。Unified Communications は
2000 年から各地で段階的に導入され、オフィスを始め、自宅や全世界の
コンタクトセンターで働く従業員に IP ベースの新しい音声、ビデオサー
ビスをもたらしました。

また、シスコ IT では Unified Communications ソリューションの機能を段階
的に強化していきました。はじめは、基本的な通話サービスを導入し、その
後アドバンスドテクノロジーやカスタマイズしたアプリケーションを追加して
いったのです。このような展開が可能だったのは、シスコの SONA フレ
ームワークでは、新しいソリューションを展開するその時どきで、ソリュー
ションを支えるネットワークレイヤーが完成しており、それをサポートするテク
ノロジーも整っているという保証があったからです。

シスコ IT では、データセンターやモビリティなど、他のテクノロジー分野
でも SONA のフレームワークを採用し、さらなる効果を生み出しています。
今後もシスコが新たな拠点でのプレゼンスを拡大するにあたり、シスコの標
準がグローバルで確実に準拠されるように SONA のフレームワークと Unified
Communications ソリューションが利用されていくことになるでしょう。



その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、
Cisco IT @ Work をご覧ください
<http://www.cisco.com/jp> (シスコシステムズ→Cisco IT@ Work)

付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2006 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00